

普及現地情報



発信年月日:令和 7 年(2025 年)12月4日
所 属 名:東近江農産普及課
番 号:D25022
発 信 者 名:中村、軸屋

一歩進んだ栽培管理の実現へ！イチゴの環境制御勉強会を開催

CO₂施用や加温など積極的な栽培管理に関心の高いイチゴ栽培者を対象にイチゴ環境制御勉強会を11月7日に開催したところ、8名の生産者が出席されました。活発な意見交換ができ、多収の実現や収穫量の波を軽減する栽培管理へ向け意欲が高まりました。

東近江地域のイチゴ栽培は、65戸、約10haの重要な園芸品目です。これまで当課では、基本的な栽培技術の研修会を定期的に開催してきましたが、CO₂施用や加温をはじめとした高度な環境制御による管理は、個別指導にとどまっていた。一方、多収の実現や、収穫量の波を軽減するための環境制御の関心が高まり、指導の要望が寄せられるようになりました。そこで、今回はCO₂施用や加温に特に関心の高い生産者を対象に勉強会を開催しました。

勉強会の初めに生産者の課題や目標を共有してもらい、栽培管理と環境制御について、生産者自身が目的と効果を意識できるよう丁寧に説明しました。

生産者からは、植物生理や施設環境の考え方について多くの質問が出たほか、終了後も、具体的な施設管理について意見が飛び交うなど、管理意識の高まりを感じられました。

当課では、今後も勉強会の開催と個別指導を行い、多収の実現や波を軽減する収穫の実現を目指し、イチゴ生産者の収益性向上を支援します。



勉強会の様子